

2026.4.13

1. モニュメントプロジェクト全体の背景と意義

(1) 「デザインの力による浪江町の復興まちづくりに関する連携協定」（四者協定）

締結日 : 2021年9月5日

締結者 : 浪江町、隈研吾建築都市設計事務所、伊東順二事務所、住友商事(株)

概要 : 「浪江駅周辺整備計画」をはじめとする多様な取り組みを推進し、浪江町の復興に寄与することを目的とした「デザインの力による浪江町の復興まちづくりに関する連携協定」を四者間で締結。

(2) 浪江駅周辺グランドデザイン基本計画

策定日 : 2022年3月 公表日 : 2022年6月

⇒浪江駅周辺グランドデザイン基本計画の基本コンセプトである

①人のつながり ②エネルギーと環境のつながり ③自然や文化のつながり

上記の基本コンセプトのもと、建物や街並みのデザインの基本計画（構想）を定めている。

(3) モニュメント全体計画

隈研吾氏と伊東順二氏による空間デザイン構想から具体の計画及び監修の中で、3つのエリアでのモニュメント設置が検討された（※P2参照）。

下記図に示す4つのエリアでモニュメント設置を検討。



東日本大震災及び原子力事故により、町内の歴史・文化・伝統等は、町民及び町にとって大変貴重な「財産」である。石材の町内資源を活用し、町にゆかりのある動物をモニュメントとして次代につなぐことは大きな意義があり、ランドデザイン基本計画における緑空間を彩る、1つの大きな空間構成要素として、当該業務において制作委託するものである。

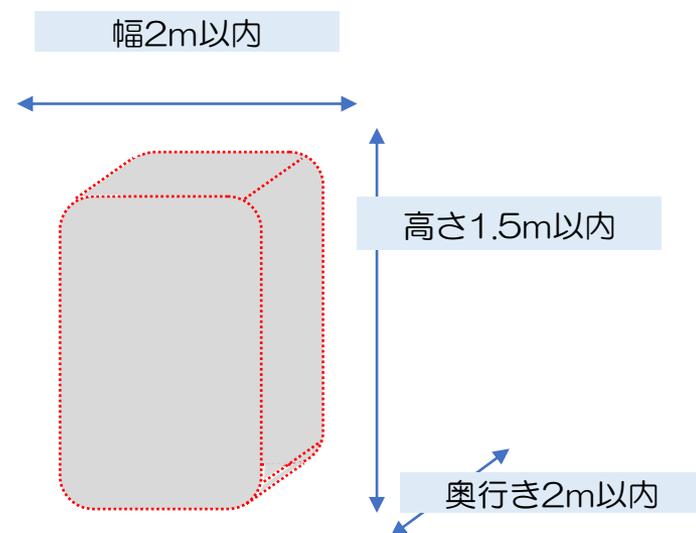
2. モニュメントの概要

(1) 「ふれあい」と「ゆかり」の いきものモニュメントのコンセプト

- モニュメント計画において、町にゆかりのある動物を、町内資源の津島産石材でモニュメント化し、木漏れ日の丘に配置する。
- オリジナルの町にゆかりのある動物を、子供たちが触れ合える特徴的なデザインでモニュメントを製作し、緑空間に置くことで、子供たちの歓喜の音が響くとともに、地域の人々の思い出を形にして残す。

(2) 素材として町内資源（津島産石材）を用いる理由

- 数十年後も残るよう津島産石材をモニュメントの素材（全部または一部）とすることで、観光等の関係人口への町内資源の紹介や、子供たちや住民に、町内資源やゆかりのある動物に触れる機会を創出し、人々の記憶を継承する。



(3) 町内資源（石材）・町にゆかりのある動植物の例

・町内資源の例

津島地区産出の石材（モニュメントの全部又は一部に使用すること。）

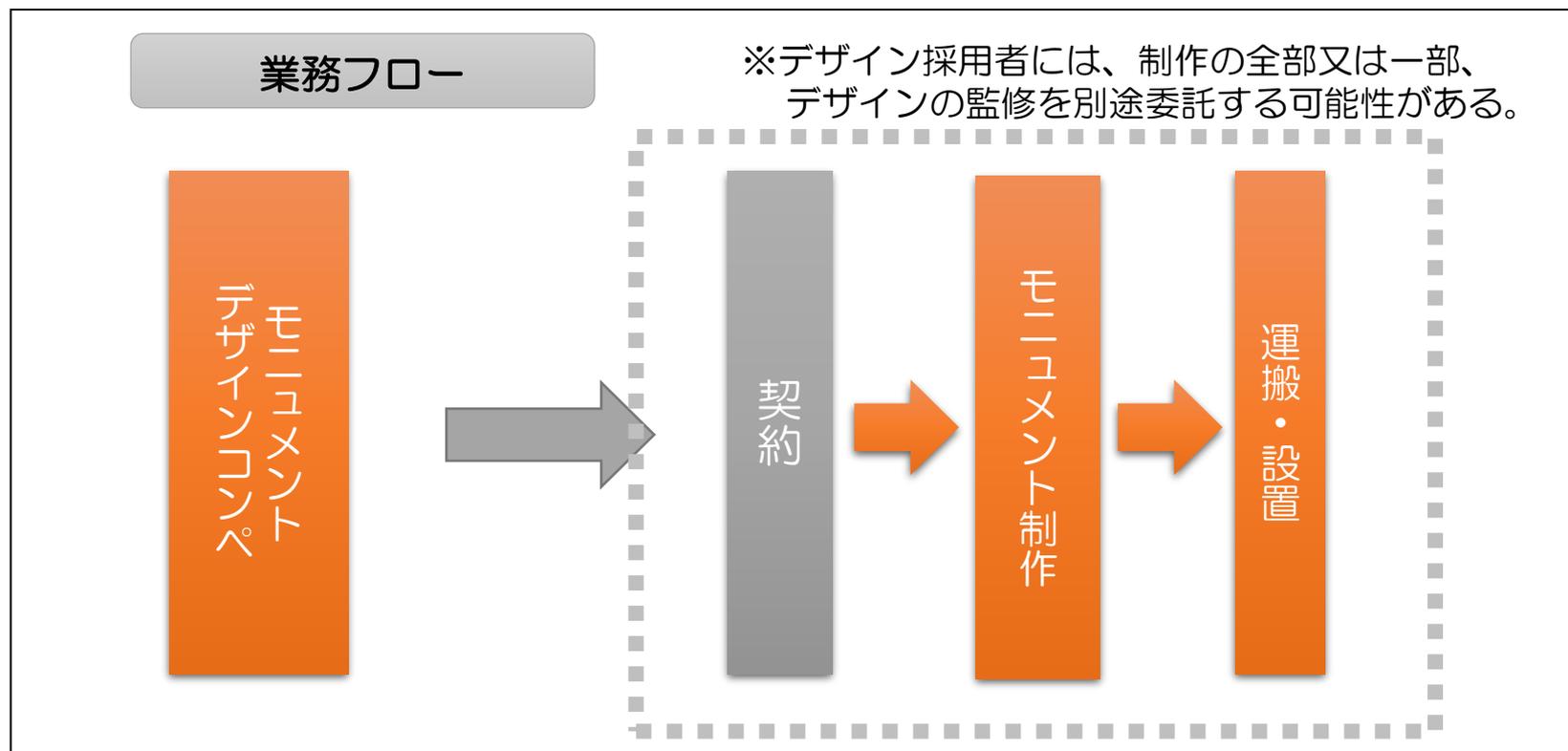
・町にゆかりのある動物の例

	動物名称	記載内容	出典
1	かもめ		町の鳥（町HP）
2	鮭	藩政時代からの築場（漁業）	町史
3	ヒラメ・カレイ等の魚類	請戸の漁業（食生活）（漁業）	町史
4	ホッキ	請戸の漁業（食生活）（漁業）	町史
5	鮎等の川魚	河川の生物（食生活）（漁業）	町史
6	馬	<ul style="list-style-type: none">・野馬追（年中行事）相馬藩軍事演習・津島地区での馬の放牧（牧畜）・神社（牧畜）・荷馬車（津島からの木材搬出等）・大堀相馬焼の走り駒	町史 郷土学習資料
7	鷹	<ul style="list-style-type: none">・室町時代からの幕府献上（狩猟）・津島村紋：五山鷹の羽	町史

3. 選定方法

(1) デザインコンペ方式を採用した理由

- コンペ方式とすることで、様々なデザインを募集することができるため。
- 「ふれあい」と「ゆかり」のいきものモニュメントについては、デザイン1名（3個または5個）を選定する。



(2) 想定参加予定者

- 芸術大学関係者・学生・工芸作家・アーティスト・デザイナーなどの個人
- 関係企業（事業者）や複数の共同体 等

4. スケジュール

(1) 公募に向けた発注スケジュール (案)

内容	期間等	備考
①公募開始	令和8年4月13日 (月)	HP掲載
②実施要領の交付	令和8年4月13日 (月)	HP掲載
③質問の受付	令和8年4月13日 (月) ~ 令和8年4月30日 (木)	電子メールで受付
④質問の回答	~ 令和8年5月15日 (金)	HP上で順次回答、公開
⑤参加申請書等の提出	~ 令和8年6月30日 (火)	持参又は郵送
⑥一次審査	令和8年7月中	審査委員会開催 (書類審査)
⑦一次審査結果通知	令和8年7月中	電子メールで通知
⑧二次審査	令和8年8月中	審査委員会開催 (プレゼンテーション)
⑨審査結果通知	令和8年8月中	電子メールで通知及びHP上で公開
⑩契約	令和8年10月中	